

# 市観光振興ビジョンに反映

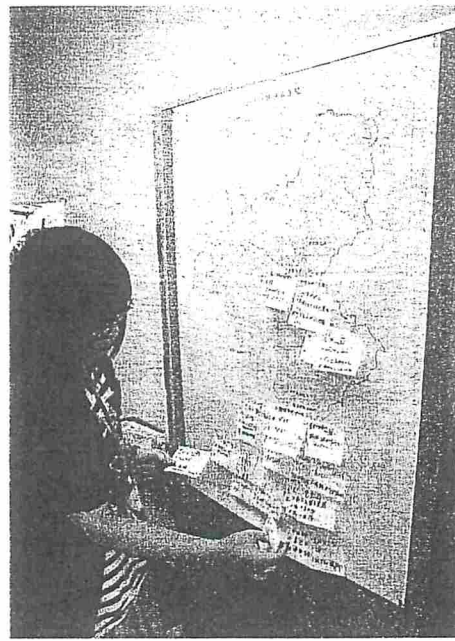
## 山口理科大でワークショップ 学生の視点で意見交換

真剣な表情でガラスに絵付けする参加者  
(きららガラス未来館で)



展示する作品のサイズは横5・4センチ、縦1・2センチ。市民らがエナメル絵

市観光課と山口東京理科大による観光ワークショップは26日、同大で開かれた。市内の観光スポットについて、同大の学生11人がグループワークで率直な意見を出し合っ



付箋に記入した意見を地図に貼り付ける学生  
(山口東京理科大で)

# 山陽小野田

小野田支社

〒756-0091  
日の出1丁目3-12  
電話:(0836)84-2522  
FAX:(0836)84-6411  
メールアドレス  
onoda@ubenippo.co.jp

申し込みは7月4日から先着順で受け付ける。申し込み、問い合わせは同館(電話88-0064)

7月から2年間、カリブ海に浮かぶ小国セントルシアに青少年活動支援で派遣される西高泊の井本望さん(27)が26日、白

し、「現地のニーズに応えられるよう貢献したい」と抱負を述べた。井本さんは早稲田大教育学部を卒業後、就職したが、昨年度で退職し、4月からJICA(国際協力機構)の訓練所で研修を重ねた。現地では赤十字社に配属され、JRC活動の異文化教育や環境教育から青少年の人材育成に携わる。

白井市「ともある、誇り」と、に気を付「しい」とは「最初慣れないうが、ゆ係を築い意欲を見将来は、グラムのた自身の、青

た。7月中旬に2回目を開催し、集約した学生の視点を、市が今秋の策定を予定している観光振興ビジョンに反映させる。ワークショップを通じて市の観光の在り方を考

えるとともに、今後観光振興のサポーターとなる人材を育むことを目的に初めて企画。初回のこの日は、市内の観光スポットの学生の認知状況をグループワークで調べた。

高千帆中時代に市の中学生海外派遣事業で、姉妹都市の豪州レッドクリフ市(現モートンベイ市)

よう、形成に

出席した学生11人の内訳は4年生6人、3年生3人、1年生2人。県内出身者は3人で、県外は福岡、島根、愛媛、大分兵庫の5県の8人。

改善を要する点として、「施設をもっときれいに」といった意見や道の狭さを指摘する声があった。

市観光課では2回のワークショップで出た意見を集約し、市の観光に関する課題と目指すべき姿を導き出して観光振興ビジョンに反映させたいとしている。

た自身の、青

出身地が市に近いグループと遠いグループに分かれ、グループごとに自分が行ったことのある市内の観光スポットを出し合った。さらに好きな理由と改善してもらいたい点を付箋に書き出し、市の地図に貼り付けた。

市観光課では2回のワークショップで出た意見を集約し、市の観光に関する課題と目指すべき姿を導き出して観光振興ビジョンに反映させたいとしている。

白井市長と握手を交わす井本さん(左)

た自身の、青

学生が挙げたスポットは、竜王山、きららピート焼野など大学に近い市

市観光課では2回のワークショップで出た意見を集約し、市の観光に関する課題と目指すべき姿を導き出して観光振興ビジョンに反映させたいとしている。



白井市長と握手を交わす井本さん(左)